



Royalナナちゃんの

赤裸々

カスタム吐息

Nana'S

Custom Harley Story

text/N.Chang 張娜娜 photo/H.Suzuki 鈴木飛雄

Y.Nomoto 野本裕司

取材協力/セレクトッド品川店

TEL03-6712-1805 www.selected.co.jp

上がりを鮮明にイメージ
 すること、表れてくる。

ボジション&足回りが決まったの
 で、次のステップである造形にゴ
 ー！ 私がオーダーしたタンクの形
 は「クジラ」。編集部でその発言を
 したときは、やはりみんなの目が点
 になってましたよ(笑)。ビルダー
 の鈴木さんにもまったく同じ発言を
 して完成したモノが今、カタチにな
 っています。

「まったくのクジラを載せることは
 まずいですよね(笑)。丸みや尖っ
 た体をした五万というクジラの種類
 の中から、求めているモノはきつと
 丸くて長いクジラのことだろうと思
 いました。つまり、トップと側面が全
 体的に丸みを帯びているカタチです。
 でも、丸くし過ぎると、視覚的に
 膨張して大きく見えてしまうから、
 トップから丸くしたら一度段を付け
 て、シェイプしてまた段を付ける。
 そのアクセントが入ることで、丸み
 を帯びつつもシャープに見せていま
 す。ただ単純に丸いだけでなく、エ
 レガントな造形にこだわりました」



Volume 02
DESIGN

女性らしさを追及した 繊細な造形美



セレクトッド品川店
店長 鈴木飛雄さん

北品川にあるセレクトッド品川店店長。自身でカスタムした愛馬ROYAL CROWNSは'11JOINTSと'11F.T.Wでトップアワードを獲得。時代を担うトップビルダーのひとりだ



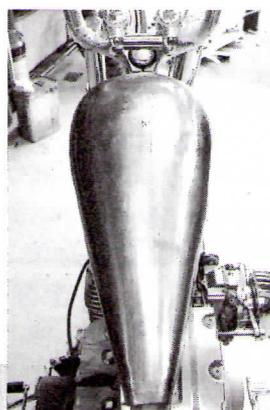
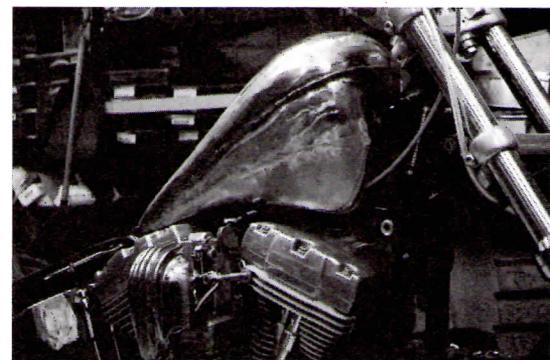
Tank

タンク

シルエットを考慮しつつも、実用性は必要不可欠な要素。

無骨なフレームに違和感なく合わせられる女性らしい曲線を描き、丸みを出すことを第一に考慮。ただ、タンク容量が少なすぎるとデメリットが多くなるので、幅が狭い分フレームに深く被せるハイトンネルにし、高さで長さを出して容量をカバーしてやる。また、TWのサポートフレームを隠すというビジュアルも意識してる。

私の身長(167センチ)から重苦しい雲間気を感じたため、ハイトンネルでタンクを低位位置にして操作性をよくし見た目にも軽く見せたよ



200ミリのRタイヤに合ったタンクの幅を決定。後ろからのシルエットは細身で、女性の身体をイメージしたよ

ハイトンネルにすることによってバイクを小さく見せる。逆に、大きく見せたい時は、ロートンネルで厚みをもたせるの

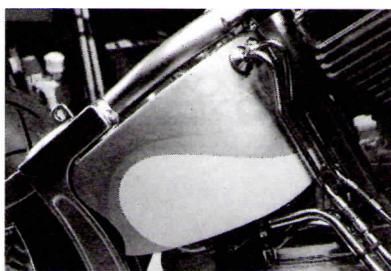


Oil Tank

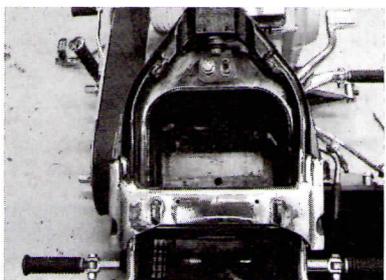
オイルタンク

またがった時に気になった部位も美しく改良。

'05FXSTのフレームから数センチ突き出したオイルタンクキャップが脚に当たるので、くり貫いてオイルタンク上部に移設。オイル交換時はシートを外しての作業となる。さらに、オイルタンクのサイドは脚に当たらないように、フレームのラインと同じ幅に詰めてもらったよ。ただ、タンク容量が減ってしまうと致命的になるので大幅な縮小は極力抑えてあるのだ。



カスタム後の写真。キャップ部分が丁寧に加工され、塗装されている。オイルタンクのリア側には、女性らしさを出すため曲線を描いてもらったの



オイルタンクのサイドはフレームのラインに合わせて若干の幅詰め。ただし、オイル容量の大幅な変更はしない



キャップの突起部分をくり貫いたの図。走るたびに、ヤケドしそうになるほど熱くなっていたの。ヤッタ!!

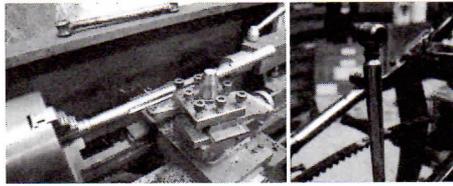


Fender & Fender Strad

フェンダー&フェンダーストラッド

デザイン性を追及したギリギリのクリアランス。

コンパクト化を前提としてフェンダーとタイヤのアールを等しくしている。それ故、タイヤとの密着感や一体感を追及して、200ミリのRタイヤを履いたリア側もコンパクトでスマートに。また、Fフェンダーがない分、Rフェンダーの後ろ部分を短めに加工し、手前の部分を長めにすることで電装部分を雨や石から護るスブラッシュガードの要素も兼ねているの。クロムメッキ仕上げのフェンダーストラッドは、ワンオフで強度を考慮してるよ。



フェンダーストラッドの強度を重視すれば、見た目は自ずと無骨になる。そうならないために、なるべく下方に向けてシェーブしたデザイン。サイドにはアクセントのスリッドが入るよ

スイングアームを共締めしたフェンダー。タイヤとのクリアランスを考慮して、両方のアールを等しくギリギリの幅まで縮めた



Head Light Stay

ヘッドライトステー

細部にもなめらかな曲線を意識したアクセサリパーツ。

ハンドルの高さ、フォークの長さ、タンクのマウント位置を考慮してヘッドライトのマウント位置を決定する。Fフォークは'05ダイナを使用。ダイナのライトカスタムに多く見られるロアーマウントでは、視線が上がるため重心を低くしたい人にオススメ。でも、私の車両は、あえてバイザーマウントをそのまま使い、小ぶりなステーをワンオフしたの。上から吊り下げること、装飾性を向上し曲線を描くエレガントな形になり、この位置でもヘッドライトをスッキリ見せることができるからね。



ダイナのフォークカスタムは、トリプルツリーの下からヘッドライトをマウントしているロアーマウントが多い(写真)。純正ソフトレールのFフォークはもともとロアーマウント仕様

旋盤とスライスで加工した、ワンオフのヘッドライトステーを上から吊り下げた仕上がり。最近ハヤリのカスタムで、装飾性がアップされたよ



Number Stay

ナンバーステー

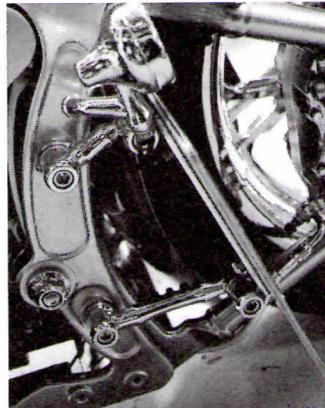
ナンバーステーはシンプルが一番。

全体の造形美をより主張させるために、ナンバーステーはシンプルを最優先に製作したよ。ステーは洋館の柱がモチーフ。テールライトはスイングアームの共締めにより、路面の衝撃が直にテールライトバルブに伝わってバルブが切れやすくなるため、壊れにくいLEDタイプにしているのぉ〜。



数種類のカラーを使用して、サイドマウントを施す。こちらも丸みを帯びており、細部への徹底したこだわりが垣間見えるでしょ!?

タップがフレームに溶接され、カラーと棒がくっついてサイドマウントになる。ナンバープレートもデザインの一部になるんだよ



Meter Mount & Engine Mount

メーターマウント&エンジンマウント

リボンを巻きつけた、かわいらしいワンオフパーツ。

メーターはよく見る部位なので、その人らしいスタイルを表現した造り込みを重視。シンプル過ぎない、男性的ではないエンジンマウントの造形美をリボンをモチーフにすることで具現化してるよ。強度が必要な箇所とそうでない箇所があるので、柔らかいラインに見せつつ、強度のあるモノを造る点が難問だったみたいだね。



エンジンマウントのアーチ、フレーム側のメーターマウントから最後の巻きを加工するのは至難の業。シルエットと仕上がり具合を考えながらひと巻ひと巻、丁寧に形造る。やわらかさを全面に出した、アクセサリパーツなのだ



造形は次のステップになるカラーリングにも繋がる。「造形を考慮する時点で、シンプルにするか複雑なデザインにするのか、できるだけ早い段階で決めておいたほうがいいです。このロイヤルセブンはカラーリングとしての手法や配色をうまく使って見せたかったので、外装類はなるべくシンプルに留めました。あまりにちやこちやし過ぎるとペイントのデザインが活かされなくなるので。常に意識していることは、完成形をイメージした上での造形です」

